

第44回全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島県大会

開催要項

1 目的

日本における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国民の相互理解と友情を深めることに寄与することを目的とする。

第44回全日本中国語スピーチコンテスト（以下「全国大会」という）へ各都道府県代表を推薦する予選大会の性格を持つ。

2 開催時期・会場

日時：2026年11月8日（日） 12:00 開会（11:30 開場）

12:10 朗読部門・スピーチ部門開始

14:30 休憩（審査）

15:00 成績発表、表彰式、審査員長講評

16:00 閉会

（部門の順番、時間はいずれも予定） 会場：かごしま国際交流センター 多目的ホール

鹿児島市加治屋町19-18 TEL 099-226-5931

3 主催・後援等

主催：鹿児島県日中友好協会、鹿児島市日中友好協会

後援（予定）：中華人民共和国駐福岡総領事館、
鹿児島県、鹿児島県教育委員会
鹿児島市

4 部門について

スピーチ部門（中学生・高校生部門、学生部門、一般部門）

朗読部門（中学生・高校生部門、学生部門、一般部門）の2部門とする

スピーチ部門

1. 全国大会の出場について

3部門からなり、出場者数は「学生部門」、「中学生・高校生部門」、「一般部門」とする。

※鹿児島県と近隣県の出場可。各県1位を、全国大会への出場者として推薦する。

2. 参加資格

<共通資格（全部門）>

1. 日本国籍を有すること。
2. 両親がどちらも中国語を母語としておらず、自分自身も中国語を母語としていないこと。(注1)
3. 中国語を主にして授業を行う学校（中華学校など）に在学した経験がないこと。
4. 中国語を日常的に使用する地域に、通算13ヶ月以上留学または滞在したことがないこと。ただし、中国にある日本人学校に在学した経験がある場合は滞在期間に関係なく出場可能。
5. 過去に全国大会で優勝したことがないこと。

<部門ごとの出場資格>

学生部門

- 大学、大学院、専門学校その他これらに相応する教育機関に在学している者。高等専門学校は4年生、5年生は大学生部門とする。(注2)
- 出場時の年齢が30歳未満である者。(30歳以上の者は「一般部門」に出場)

中学生・高校生部門

- 中学校または高校に在学している者。

一般部門

- 18歳以上で大学、大学院などに在学していない者、在学中でも出場時の年齢が30歳以上の者は「一般部門」に出場すること。

注1：「母語」とは、その人が自然に身につけ、日常的に使用する言語のこと。

注2：大学には短大や文科省指定の外国大学日本校も含まれる。

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者が可否を決定する。

3. テーマおよび審査

*テーマ：「学生部門」「中学生・高校生部門」「一般部門」ともに自由テーマ（5分以内）

—参考（前回の受賞者のテーマ）—

第41回「学生部門」／「初めての中国」

「高校生部門」／「中国と日本の食文化の違い」「龍のひげ飴」

「一般部門」／「二胡の音色に魅せられて」

第42回「学生部門」／「夏の思い出」

「高校生部門」／「将来の夢」「中国は「自分勝手な国」なのか？」

「一般部門」／「私が中国語を学ぶ理由」「私と台湾」

「分類してラベリングすること」

第43回「学生部門」／「熱情の日本語とは？」「留学生とのバस्तゥー」

「高校生部門」／「私の高校」「中国語は架け橋です」

「一般部門」／「多言語絵本がむすぶ心と心」「中国人の優しさと気遣い」

*審査

- ・各人のスピーチ（原則として原稿は見ないこと）と審査員による質疑応答（1分前後）を行う
- ・審査基準：①正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか
※ただし歌などのパフォーマンスは不可
②テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か
③内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか
- ・審査員：大学教授、国際交流員ほか（予定）

4. 表彰

- ・スピーチ終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
学生部門・・・第1位～3位
中学生・高校生部門・・・第1位～3位
一般部門・・・第1位～3位
- ・1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する。

5. その他

原則各部門1位は全国大会出場を推薦する。ただし、各県1位とする。

（例えば、宮崎県出場者が1位、鹿児島県出場者が2位の場合、2名とも推薦する）

- ・ 全国大会への推薦は各部門上位 1 名とする。(ただし、複数県出場の場合、各県の上位 1 位とする)
- ・ 全国大会は 2027 年 1 月 10 日 (日) に東京・飯田橋日中友好会館地下大ホールにて開催予定。
- ・ スピーチコンテストの被推薦者が、全国大会の予備審査を経て、全国大会へ出場することとなった場合、鹿児島県に本籍または住民票を有する者については鹿児島県日中友好協会より東京までの旅費補助として 1 人当たり金 3 万円が授与される。(鹿児島県以外に本籍または住民票を有する者については、自費での出場をお願いします。)

6 エントリー方法

- ・ スピーチコンテストスピーチ部門への参加を希望される方は、以下の書類を 10 月 8 日 (木) 必着で鹿児島大会事務局まで郵送にて提出すること。
 - ① エントリー用紙 (鹿児島県日中友好協会 HP (<http://jc-kgs.com/>) からダウンロードして下さい)
 - ② スピーチ原稿コピー 中国語と日本語各 1 通

<エントリー用紙送付先>

〒890-0046

鹿児島市西田 1 丁目 1-6-302

鹿児島県日中友好協会 全日本中国語スピードテスト鹿児島大会 事務局 宛

鹿児島市西田 1 丁目 1-6-302

問い合わせ先：090-6299-7420 (種子島) tanegashimayoko@icloud.com

朗 読 部 門

1. 目 的

中国語学習初心者を対象とし、更なる中国語の普及と質の向上を目的とする。スピーチ部門へ挑戦するためのきっかけとしての役割も担う。

2. 全国大会の出場（推薦）・賞について

「学生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」の3部で実施し、それぞれ最優秀賞1名を決定する。全国大会への推薦は各部1名（総計3名）までとする。

3. 参加資格

<共通資格（全ての部）>

- ① 日本国籍を有する者
- ② 中国語を母語としない者
- ③ 両親のいずれもが中国語を母語としない者
- ④ 中国語を主に授業を行なっている学校（中華学校など）に在学経験のない者

<部門ごとの出場資格>

学生部門

- ・ 大学、大学院、専門学校その他これらに相応する教育機関に在学している者。高等専門学校は4年生、5年生は大学生部門とする。
- ・ 出場時の年齢が30歳未満である者。（30歳以上の者は「一般部門」に出場）

中学生・高校生部門

- ・ 中学、高校に在学している者。

一般部門

- ・ 18歳以上で大学、大学院などに在学していない者、在学中でも出場時の年齢が30歳以上の者は「一般部門」に出場すること。

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

4. 課題文および審査

- ・ 朗読課題文（第7頁参照）
- ・ 審査：各人が課題文を朗読し、審査を行う。
- ・ 審査基準：発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。
- ・ 審査員（予定）：スピーチ部門と同じ

※ 各部門の課題文は、鹿児島県日中友好協会 HP (<http://jc-kgs.com/>) からダウンロードして下さい

5, 表彰

- ・ スピーチ及び朗読発表終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
学生部門;1位～3位
中学生・高校生部門 ;1位～3位
一般部門 : 第1位～3位
- ・ 全国大会への推薦は各部門上位1名とする。(ただし、複数県出場の場合、各県の上位1位とする)
- ・ 全国大会への推薦者は音源審査にて入賞者(優秀賞)が12月上旬に決定する。
- ・ 音源審査入賞者(優秀賞)は2027年1月10日(日)に東京・飯田橋日中友好会館地下大ホールにて開催予定の全国大会で、表彰および朗読発表を行う。
- ・ 朗読発表の被推薦者が、音源審査を経て、全国大会で表彰および朗読発表を行うこととなった場合、鹿児島県に本籍または住民票を有する者については鹿児島県日中友好協会より東京までの旅費補助として1人当たり金3万円が授与される。(鹿児島県以外に本籍または住民票を有する者については、自費での出場をお願いします。)

6, エントリー方法

- ・ スピーチコンテスト朗読部門への参加を希望される方は、以下の書類を 10月8日(木) 必着で鹿児島大会事務局まで郵送にて提出すること。
① エントリー用紙 (鹿児島県日中友好協会 HP) からダウンロードして下さい)

<エントリー用紙送付先>

〒890-0046

鹿児島市西田1丁目1-6-302

鹿児島県日中友好協会 全日本中国語スピードテスト鹿児島大会 事務局 宛

鹿児島市西田1丁目1-6-302

問い合わせ先 : 090-6299-7420 (種子島) tanegashimayoko@icloud.com

第 44 回中国語スピーチコンテスト朗読課題文

中高生部門「骆驼」

在动物园里的小骆驼问妈妈：“妈妈妈妈，为什么我们的睫毛那么地长？”骆驼妈妈说：“当风沙来的时候，长长的睫毛可以让我们在风暴中都能看得到方向。”小骆驼又问：“妈妈妈妈，为什么我们的背那么驼，丑死了！”骆驼妈妈说：“这个叫驼峰，可以帮我们储存大量的水和养分，让我们能在沙漠里耐受十几天的无水无食条件。”小骆驼又问：“妈妈妈妈，为什么我们的脚掌那么厚？”骆驼妈妈说：“那可以让我们重重的身子不至于陷在软软的沙子里，便于长途跋涉啊。”小骆驼高兴坏了：“哗，原来我们这么有用啊！可是妈妈，为什么我们还在动物园里，不去沙漠远足呢？”

大学生部門「亲情·友情·爱情」

每个人的一生，都离不开亲情、友情、爱情。我们一降生，就被浓浓的亲情包围着，爷爷、奶奶、姥姥、姥爷、爸爸、妈妈……，无私的亲情使我们慢慢长大。在幼儿园、学校和工作单位，我们又有了伙伴情、师生情、同学情、同事情。我们也总会有几位知己，给予我们纯真的友情。也许在友情中，我们还可能从异性那里收获到一份属于自己的忠贞的爱情。我们在享受着亲情的同时，追求并拥有着友情与爱情。但同时爱情可能又出自于友情，因为和他（她）的相识、相知、相爱的过程，其实也是友情升华的过程（除非真的是一见钟情）。但我们的爱情变成了现实，走进了婚姻的生活，当我们为人父，为人母后，我们将在自己的子女身上倾注我们的亲情，让他们生活在我们给予他们的亲情之中。其实人就是这样，在这三个情中不停地轮回。

朋友，如果你的生命中伴随着亲情、友情、爱情，那么，你就是幸福的人！

一般部門「律回岁暖嗅春味儿」

时序更迭，律回岁暖，冬日的清寒正一点点退去。不必等繁花满枝，不必听雷声阵阵，只在风里、光里、气息里，便已悄悄嗅出了春的味道。

风是最先知春的。不再是凛冽刺骨，而是柔柔软软，拂过脸颊时，像极了一声轻浅的问候。走在街上，阳光也温温吞吞地洒下来，不灼人，不张扬，只把人心照得敞亮、舒坦。空气里少了冬日的干燥，多了几分湿润与清新，深吸一口，便觉通体舒畅。

春味儿，藏在细微之处。枝头隐约有了新芽的萌动，泥土里透着苏醒的气息，连平日里寻常的烟火，也多了几分暖意。人间烟火，最抚人心，一碗热汤，一句闲话，一抹暖阳，都在悄悄告诉我们：冬天就要过去，生机正在归来。

律回岁暖，万物向新。不必急着奔赴盛大的春光，只需静静感受这一缕淡淡的、甜甜的、带着希望的春味儿，心便跟着温柔起来，日子也跟着明亮起来。

春已至，风渐暖，愿我们在这渐浓的春意里，心安如常，岁岁欢喜。